

# STAFF column

## ミニチュアホースの歯がぐらぐら?!



先日当院からほど近い介護施設から、思いがけない連絡を受けました。なんと、そこで飼われているミニチュアホースの歯ぐきから出血があり、前歯がグラグラしているとのこと！日課の散歩中、近くの田んぼで草を食べていたところ、突然食事が止まったのを不思議に思い覗き込んでみると、口元から出血していたということでした。

当院は実は10数年前、今は閉園したたみさき公園からの依頼で、口バの歯を治療した経験があります。

それを思い出し、二つ返事で往診をお受けしました。みさき公園では口バでしたが、ミニチュアホースは初めてです。早速インターネットで馬の歯について勉強し、院長含めスタッフ数名でその日のうちに向きました。

ミニチュアホースは1歳のメスで、広いお庭で元気に飼育されていました。馬は1〜2歳ごろまでに約20本ほどの乳歯が生え変わるそうで、ちょうどその時期にあたります。人懐っこく大人しい子だったので、診察はスムーズ。院長の診察の結果、前歯2本が動いていて出血もみられましたが、今は問題なく食事できているとのこと、今回は特に処置をせず様子を見ることになりました。

ふだん見ることのない馬の歯の生え変わりはとても興味深かったです。乳歯が抜けると、新しい永久歯が生えてくるので、今後の変化も楽しみです。

(歯科衛生士・弓場 未紗樹)



### 入職しました

2月1日より当院で事務長見習いとして働いております  
小畑文憲と申します。

仕事内容は多岐にわたりますが、一日でも早くこの戦力になれるよう日々精進します。

院長をはじめ、スタッフの皆さんはとても親切なので職場環境は最高です。

旅行や喫茶店巡りが趣味なので、機会があれば訪れた様々な土地の魅力をお伝え出来たらと思います。

よろしくお願いします。



事務長(見習い) 小畑 文憲

3月から歯科助手として働かせてもらってます高橋姫花です。

まだまだ慣れないことも多いですがよろしくお願いします。



歯科助手・事務 高橋 姫花

はじめまして、3月からお世話になってます歯科助手の尾野千明です。

以前も歯科助手として働いておりましたが、もっとスキルアップしていきたいと思っています。

至らないところもありますが、患者さんとのコミュニケーションを大切に、頑張っていきたいとおもいますのでよろしくお願いします。



歯科助手・事務 尾野 千明

# News ウェルネス



No.155  
ウェルネス小畑歯科医院  
子どもの歯を守る会  
会報 1998年2月創刊  
〒640-8401  
和歌山市福島324-1  
☎073-455-9874  
<https://www.wellness-kobata-dc.com/>

## 歯並びお悩み相談室③ 子供の歯並びの疑問や不安について

現代の子どもは5人中4人が何らかの歯列不正を抱えており、この状況は日本だけでなく世界中に広がっています。

当院でも子どもの歯並び相談は年々増加し、様々な不正咬合に遭遇します。それに伴い歯並び相談の年齢層も1〜18歳と大きく幅を持つようになりました。

従来では歯列不正は遺伝的なものという考え方が強くありましたが、今やもうそれだけではないことは明らかです。必ず原因が存在し、口呼吸、姿勢、舌癖、食事の変化などが大きく関わっています。子供によって歯列不正に至った原因が違い、その様々な原因にアプローチするのが予防矯正というものです。

乳歯と永久歯が混在している小学生は矯正治療ができないと思っているお母さん方がたくさんいらっしゃいます。

むしろ成長中の小学生だからこそ、低学年から予防的に矯正を始めることが大切です。子どもの発育を上手に引き出し、噛めるように誘導しながら歯並びを改善していきます。また永久歯を抜くことなく矯正できる可能性があります。これが予防矯正の大きなメリットです。

当院で推奨している子供の予防矯正装置は取り外しができるものです。成長にあわせて広げていくため、大人には適応できない装置になります。痛みが少なく、永久歯の抜歯をすることもありません。食べにくさもなく、歯ブラシも今まで通りすることができます。



### ゴールデンタイムは何歳!?

一般的に予防矯正の適応年齢は7〜12歳です。また最もアゴが成長しやすいのは7〜9歳といわれています。このゴールデンタイムを有効に活用することが予防矯正を成功に導くコツです。

ただし子供の成長に合わせて拡大していくため、ワイヤー矯正よりも期間は長くなります(平均約5年)。途中でモチベーションが低下しやすいのが難点です。

### ワイヤー矯正と予防小児矯正



矯正といえば歯に着けた銀のボタンに針金を通す、ワイヤー矯正を思い浮かべるといいます。

しかし、痛い、見た目が気になる、食べにくいなどマイナスイメージがあるため敬遠されてしまい、本来の適応年齢を逃してしまう場合があります。

矯正といえば歯に着けた銀のボタンに針金を通す、ワイヤー矯正を思い浮かべるといいます。

装置を取り外せることはメリットですが、やる気がなくなってしまうとデメリットになってしまいます。

予防矯正は親の強い思いで矯正を開始するケースが多く、子供の気持ちが悪くなる傾向があります。結果、全体の1割程度ですが、約10歳頃になると反抗期を迎え矯正装置を入れなくなります。残念ながらそれではまったく治りません。

すぐに決断せずに家族会議を十分にしてください。学校や塾の宿題と同じで、放っておいても子供は使ってくれません。こまめに声かけをするなど、親の協力が必要不可欠です。

### 更に早期介入が必要なケース!?

当院で最も多いのが子供の反対咬合（いわゆる受け口のこと）で、早ければ5歳頃からマウスピースのような装置で矯正をスタートします。



反対咬合は自然に治ることもあります。前歯が生え変わったタイミングで治ることを期待して様子見ましょう、というアドバイスを受ける場合もあるでしょう。そして永久歯が萌出後、反対が治らなかった場合に矯正へ移行するわけです。

しかし、この時点ですでに約7~8歳です。上アゴを成長のピークは終わりかけです。反対咬合の治療では、通常よりも上アゴを前方に成長させ、うまく咬み合わせを誘導するのがコツです。永久歯の萌出を待っていたら子供本来の成長を利用できずにタイミングを逃してしまいます。

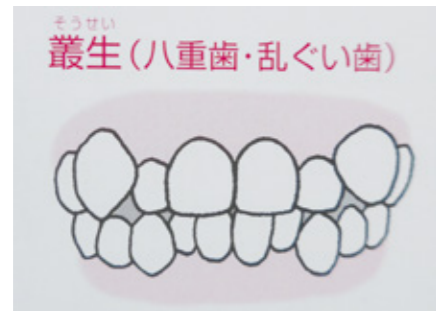
矯正の難易度だけでなく費用も著しく上昇してしまうので、当院では予防的に早期介入を提案しています。

そんな小さいうちからできるのか、という心配もあるでしょうが、マウスピース型装置には歯型取りがありません。既製の矯正装置でサイズがいくつかあり選ぶだけです。だから5歳からでも出来るのです。

既製品のため矯正費用もかなり抑えられます。

### 不正咬合のタイプ別対策

歯並びのよい子に育てるには歯列不正のサインに早く気づいて対策をとることが大切です。主な歯列不正の種類、原因、生活習慣の改善なども含めて説明していきます。



①叢生(そうせい) (乱ぐい歯のこと)

現代っ子の叢生の最大の原因はしっかり咬むような食生活を送っていないことです。①歯に対してアゴの

骨が小さすぎたり②アゴの骨に対して歯が大きすぎる③偏食や少食④朝食を食べないなどの要因でアゴがうまく発育しません。

また現代では当たり前になっているゲームや動画視聴では子供のアゴの発育には全く役立ちません。まずはしっかり体を動かして思いっきり遊ぶことです。その結果、空腹感が増し好き嫌いせずにいろんな食材を食べることができます。さらに動物のように下アゴを横に動かしながら奥歯ですりつぶすように咬むと歯列の幅がより大きく成長します。

食べることを好きになることが大切です。そのためには間食は要注意です。お菓子などは柔らかく高カロリーなものが多いため、噛む回数も少ないわりにすぐに血糖値を上昇させてしまいます。三度三度の食事を大切にしましょう。



②上顎前突(出っ歯のこと)

主な原因は①指吸い②下くちびるの噛み吸い癖③口呼吸(お口ぽっかん)です。その結果呼吸が浅くなり姿勢が猫背になっていきます。さらに下あごが後ろに下がりより出っ歯感が強調されていきます。

また姿勢の悪い子は足もとをチェックしてください。座っているときに足が地面から浮いていたり、歩いているときにつま先立ちになっていることが多いです。姿勢の悪い子はまず足の裏をしっかりつけることから意識してみましょう。姿勢が改善されてくると呼吸が深くなり口呼吸から鼻呼吸へと改善されていくでしょう。鼻呼吸になるとお口を閉じられるので、下アゴの後退が軽減されていきます。

不正咬合は様々な負の要因が積み重なった結果です。一つでも良い習慣を取り入れていくことで、負の連鎖から抜け出し、好循環にしていくことが大切です。

専門的に対策をしたい場合は歯科医院でのMFT(口腔周囲筋機能療法)をお勧めします。

(歯科医師・竹岡 高志)

参考文献：歯並びのよい子に育てるために - 子育て歯科医からお母さんへ 倉治ななえ著 わかば出版

## 予約システムが変わります!



ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、当院の予約のとり方が変更しました。

新システムでは、治療やお掃除後にチャーターで予約を取らせていただきます。もちろん、これまで通り受付窓口やお電話でもできるのでご安心ください。

システム変更に伴いご不便をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

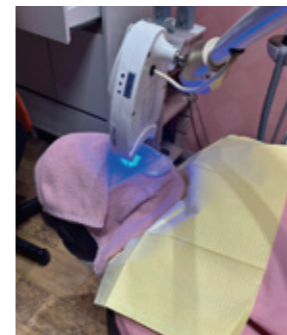
さらに4月以降には初めての患者さまに限り、当院ホームページからWEB予約もできるようになります。再来院の患者さまも順次可能にしていきますので、お待ちくださいね。

ご不明な点があれば、お気軽にお問い合わせください。(歯科衛生士・弓場 奈津実)



## 医院見学報告!

### ~わたなべ歯科医院 in 岡山県倉敷市~



1月にホワイトニングの勉強のため、岡山県のわたなべ歯科さんに行ってきました。

ホワイトニングの知識は多少ありましたが、施術だけでなくカウンセリングから見る機会があり、すごく

感銘を受けました。

聞く力、見る力、話す力の全てがスムーズで、患者さん皆さんが満足して帰っていました。

実際に私自身ホワイトニングをしてもらいましたが、痛みもなく白くなりいい経験をさせていただきました。小畑歯科でもホワイトニングできる日が来るよう頑張りますので、楽しみに待っていてください。

(歯科衛生士・藤本 真央)

### ~しん治歯科医院 in 香川県高松市~



沖縄予防歯科シンポジウムに続き、香川県のしん治歯科医院へ見学に行ってきました。

予防歯科を基本に、小児歯科から往診まで、多くの患者さんのお口の健康をサポートしている医院です。

デジタル導入のシステム化を上手く取り入れており、大変有意義な見学訪問となりました。

せっかくなので、香川観光も楽しみました! 当院勤務医の岡先生は徳島にルーツがあり四国に詳しい



ので、おすすめの自家製屋さんで本場の讃岐うどんをいただき、そのあとは瀬戸内海国立公園に指定されている屋島へ。

そして、歯科スタッフならではの?高松市にある「歯ART美術館」にて、5000個の入れ歯を入れたケースと記念写真を撮りました。(歯科衛生士・上田 智恵子)